

津幡町の子どもたちの
育つ環境を考える
700人委員会

2007年3月18日発行

ホームページ <http://www.geocities.jp/child700/index.htm>

ボートピア設置計画の白紙撤回を求める
最終署名数は、津幡町有権者の過半数を超える

14561筆!!

町外と20歳未満の方からは

5884筆!!

平成19年3月の津幡町議会定例会に、①ボートピア設置計画の白紙撤回を求める請願、②舟橋区の同意の取り方の確認や調査を求める請願、③ボートピア設置計画に関する町民への説明会開催を求める請願、④住民投票条例の制定を求める請願、そして⑤環境整備費算出根拠の説明責任を求める請願の、あわせて23の請願を「津幡町の子どもたちの育つ環境を考える700人委員会」が中心となり提出しました。結果は5対11で、または4対12で全ての請願は不採択とされました。12月議会に続き、住民の声はまったく無視されました。

3月議会において、私たちの請願は、23件すべて不採択に！

ボートピア賛成議員：多賀吉一、向 正則、鈴木準一、南田孝是、谷口正一、高森外幸、
山崎太市、洲崎正昭、長谷川恵子、河上孝夫、徳田 進、中田健二

ボートピア反対議員：宮本眞晴、古坂 勇、石本喜一、納口清隆、道下政博

議会への請願23件の内訳は、700人委員会から3件、表舟橋区住民有志と、御門出町区住民有志によるボートピア設置計画に反対する会から2件、ボートピア計画への説明を求める能瀬住民の会、9割以上が反対する緑が丘住民有志によるボートピア設置計画に反対する会、野山団地の9割以上が反対する住民有志、グリーンハイツ団地住民有志の会、潟端住民有志、石川高専有志によるボートピア設置計画の白紙撤回を求める会、英田小学校保護者有志、能瀬保育園保護者有志、ボートピアに反対する津幡町民生委員・児童委員有志、津幡町立図書館絵本クラブ有志、津幡町の健全な財政を考える会、紅茶の時間、コミュニケーショングループ「ともとも」、自力整体法教室 ちゅゅ、ふるさとに歌声を広める会、あなたと私/センス・オブ・ワンダーの仲間たち、からそれぞれ1件です。

町長への要望書は、700人委員会から2通、英田小学校保護者有志と能瀬保育園保護者有志からそれぞれ1通です。

舟橋区の「総会」の新事実！

ギャンブル場設置計画は、舟橋区の賛成多数の同意から始まったと思っていました。ところが、区の『総会』で決まったと思わされていた会議が、実は『説明会』であったこと。その計画推進の決議は挙手による強引な決め方だったことも明らかになっています。

しかもその説明会には、業者と津幡町議会議長の山崎氏も同席していたことが判明。私達 700 人委員会は法的手続きも踏んで確認中です。

グットワンに行ってきました!! ^{3/14}

町がポートピア計画を丸投げした会社は、東京虎ノ門三丁目にあるマンションの一室。会社の表示もなく、同じマンションの住民に聞くと人の出入りがほとんどないということです。そのような会社と町が同意書を交わすなんて信じられません。

国交省へ3回目の要望書提出 ^{3/14}

まだグットワンからポートピア推進本部や、国交省へも申請されていません。もはや津幡町だけの問題ではなく、日本列島全土におよぶ大きな問題です。3月14日、『ポートピア反対全国市民連絡会』が「津幡町の子どもたちの育つ環境を考える 700 人委員会」を含む 12 団体によって結成されました。今後、全国的な活動が始まります。

ポートピア名古屋にも行ってきました ^{3/14}

長時間の無断駐車、空き巣の増加など、周辺住民の困っている生の声も聞いてきました。

3月4日 くな


「住みよいまちづくり町民集会」シンポジウム

- ①パネラーの小田氏（加賀屋会長）の「美女とギャンブル」という不適切発言の意味は？シンポジウム全経費の詳細の公表。
- ②プログラムにあった『津幡丘陵公園整備計画』の話は一切なく、削除された説明、謝罪もなし。企画担当者、司会進行に携わった方の責任は？
- ③小田氏ら、町政策アドバイザーの位置づけ、これまでの議事録、費用の公開。ボートピアについての討議の有無と意見は？

3月6日 これらの疑問を公開質問状とし、
村隆一町長に提出


（いまだ返答なし）

「住民の声」を無視して！ あの河合谷小学校が閉校に？

 大正時代、村民の熱い想いで、禁酒によって校舎が建てられた学校として全国的に有名で、現在は、校区外からも生徒を受け入れる特認校として、自然を生かした少人数教育、地域住民との交流など特色ある学校です。

そういう津幡町の誇れる河合谷小学校を財源不足という理由で、平成 17 年 10 月の教育委員会会議は「閉校」という結果を打ち出しました。そして地元の同意、協力を取り付けないまま平成 20 年 3 月「閉校」と決定しました。

この、住民の声に耳を傾けないというやり方は、舟橋のボートピア誘致と同じです。住民の存続を望む請願は、3 月議会で、11 対 4（棄権 1）で不採択となってしまいました。

 平成 18 年度普通交付税の基準財政需要額での算定によれば、河合谷小を閉校しても、財政的にはそれほどプラスにはなりません。



【編集後記】 ~ 「風」 実行委員会 ~ 誕生

今年は暖冬で、天が私たちの署名活動に味方してくれ、冬の間も途切れることなく署名活動が続けることができました。大勢のかたのあたたかいご理解をいただき、本当にありがたく感謝いたしております。

3月町議会には最終署名と23の請願を提出しました。しかし、最終日に、私たちの請願はことごとく不採択になりました。私たちはお名前を書いたおひとりお一人の勇気に励まされ、ボートピア誘致反対の声を上げてきましたが、議会は閉会されました。何をしても町民の願いは届かないのでしょうか。あきらめざるをえないのでしょうか。私たちは決心しました。町長や議員の考えが変わらないのなら、私たちで変えよう。ボートピアをつくらせないために、あらゆることを視野に入れて活動しよう、町に爽やかな風を起こそう、風を創ろうと、新たに「風」実行委員会を立ち上げました。この実行委員会は、700人委員会とは別に、一歩も二歩も踏み出して、住民が政治に参加していこうという想いで、結成されたものです。これからも700人委員会とともに、応援をお願いいたします。